

ドイツ

2022年12月13日

海外調査部・ベルリン事務所

2021年のドイツの実質GDP成長率は、2.6%と前年のマイナス成長からプラスに転じた。貿易額は、輸出入とも堅調な伸びを示したが、貿易黒字額は5年連続の減少となった。輸出は、ほとんどの国・地域で増加、品目別では乗用車や機械、医薬品が増加した。輸入は前年に続き中国からが増加した。対内投資額は前年比でほぼ半減し、EU域内と米国からが減少した。対外直接投資は1.4倍に拡大、英国への投資が増加した一方、米国への投資が大幅に減少した。日本からの投資は大幅に回復した一方で、対日投資は縮小した。

■前年から一転プラス成長、2022年の見通しはエネルギー価格高騰などにより不透明

2021年のドイツ経済は、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響や、原材料を含む世界的な供給制約にもかかわらず、実質GDP成長率が2.6%と前年のマイナス3.7%から一転、プラス成長となった。ただし、依然としてコロナ禍以前の2019年の水準には回復していない。

需要項目別にみると、内需は全体で前年比1.9%の伸びを示した。民間最終消費支出は0.4%増で、前年の5.7%減から引き続き低水準で推移した。家計消費では、娯楽・文化や旅行への支出が増えつつあり、衣料品などの非耐久財支出もわずかに前年を上回ったが、総じて感染拡大防止策の影響を強く受けたほか、2020年後半に講じられた付加価値税（VAT）の一時的な税率引下げによる家具や家電製品などの耐久消費財支出の増加からの反動減があった。政府最終消費支出は、2021年春に全国的に導入された無料抗原検査の実施費用などにより、4.0%増と高水準だった前年に続き、3.8%増と伸びた。また、国内総固定資本形成は1.2%増となった。そのうち建設投資は、需要が旺盛な一方で、労働力不足や原材料供給制約などによって横ばいとなった。設備投資は11.0%減となった前年から3.5%増と回復したものの、2021年後半の自動車関連投資の急落によって顕著な増加とはならなかった。

財貨・サービスの輸出入は、前年の急激な落ち込みから堅調に回復し、輸出は9.7%増、輸入は9.0%増となった。外需（純輸出）は前年の15.3%減から15.7%増に転じた。

2022年の実質GDP成長率の見通しについて、ドイツ経済・気候保護省は、2022年1月に3.6%と発表していたものの、ロシアのウクライナ侵攻やエネルギー価格高騰などの影響を踏まえ、10月には1.4%へと下方修正した。

表1 ドイツの需要項目別実質GDP成長率

	2020年	2021年				2022年
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
実質GDP成長率	△ 3.7	2.6	△ 1.5	1.9	0.8	0.8
民間最終消費支出	△ 5.7	0.4	△ 4.9	3.4	5.7	△ 1.0
政府最終消費支出	4.0	3.8	△ 1.1	4.8	△ 3.4	1.3
国内総固定資本形成	△ 2.3	1.2	△ 1.5	1.5	△ 2.3	0.0
財貨・サービスの輸出	△ 9.3	9.7	3.2	0.9	0.0	2.5
財貨・サービスの輸入	△ 8.5	9.0	3.9	1.5	1.3	3.7

〔注〕 四半期の伸び率は前年同期比（季節調整済み）。

〔出所〕 ドイツ連邦統計局

■輸出は軒並み回復、特に自動車関連が堅調

ドイツ連邦統計局によると、2021年の貿易は、輸出が前年比14.0%増の1兆3,756億5,800万ユーロ、輸入は17.2%増の1兆2,031億7,400万ユーロで、輸出入とも2020年の前年割れから増加に転じた。貿易黒字は1,724億8,400万ユーロとなり、黒字額は前年から79億4,200万ユーロ減少、5年連続の黒字幅縮小となった。

輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械および輸送用機器（構成比45.3%）が前年比10.1%増となり、輸出全体を牽引した。内訳をみると、道路走行車両（14.8%）が11.8%増、電気機器およびその部分品（8.8%）が14.8%増、一般工業用機械類およびその部分品（7.4%）が10.1%増と好調であり、これらが機械および輸送用機器全体の伸びに貢献した。中でも、乗用車（8.6%）が10.2%増、自動車部品（4.3%）が14.2%増と、重要部品の供給逼迫により生産と調達に課題を抱えながらも、自動車関連が堅調だった。連邦統計局によると、乗用車の中でも内燃機関搭載車の輸出は減少しているが、電動車は増加しており、特にハイブリッド車は2.4倍と輸出が増えた。化学製品（18.5%）も18.9%増と大幅に増加した。中でも、新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要増により医薬品（7.3%）が15.7%増、プラスチック（2.2%）が32.4%増と大きな伸びをみせた。原料別製品（12.5%）は、非鉄金属（2.3%）が29.6%増、鉄鋼（2.1%）が35.1%増と大幅増となり、全体で19.2%増となった。

輸出を国・地域別にみると、最大の輸出先であるEU（構成比54.3%）は前年比17.5%増となった。EU域内で最大の輸出先であるフランス（7.4%）は12.4%増で、主力輸出品目の乗用車（7.6%）が7.6%増、医薬品（3.0%）が76.7%増と牽引した一方で、航空機・関連機器（3.4%）は40.3%減となった。続くオランダ（7.3%）が18.7%増、イタリア（5.5%）が24.2%増、オーストリア（5.2%）が19.7%増といずれも大幅に伸長した。中・東欧への輸出では、ポーランド（5.7%）が20.4%増、チェコ（3.4%）が19.0%増と、いずれも拡大した。

EU域外では、最大の輸出先である米国（構成比8.9%）は、乗用車（13.0%）が前年比17.6%増、医薬品（5.9%）が18.4%増、自動車部品（4.8%）が35.9%増、銀・白金金属（2.5%）が65.5%増と好調だったことから、全体で17.9%増となった。続く中国（7.5%）は、主力品目の乗用車（16.1%）が13.9%増、自動車部品（9.4%）が6.2%増、航空機・関連機器（3.9%）が19.9%増と増加したが、肉類（牛肉以外）（0.02%）が98.2%減と落ち込んだことが響き、全体で8.2%増にとどまった。2021年にEU離脱の移行期間が終了した英国（4.8%）は2.6%減となった。貨物自動車（2.1%）が3.9倍、貴金属・くず（1.4%）が2.8倍と伸長したが、最大輸出品目の乗用車（14.4%）が17.0%減と大幅に縮小したことが響いた。

2022年1～5月の輸出は、ロシアによるウクライナ侵攻や中国での新型コロナ対策による都市封鎖の影響の波及は限定的であり、前年同期比10.9%増となった。なお、経済制裁の対象となっているロシアへの輸出は32.2%減となった。同国への主要輸出品目である一般工業用機械類およびその部分品（構成比10.7%）が43.5%減、道路走行車両（8.3%）が64.4%減と落ち込んだ一方、医薬品（16.5%）が22.2%増だった。

表2 ドイツの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2020年 金額	2021年 金額	構成比	伸び率	2020年 金額	2021年 金額	構成比	伸び率	
機械および輸送用機器	565,647	622,593	45.3	10.1	機械および輸送用機器	382,321	418,705	34.8	9.5
道路走行車両	181,969	203,455	14.8	11.8	道路走行車両	106,592	110,101	9.2	3.3
乗用車	106,986	117,932	8.6	10.2	乗用車	57,793	56,707	4.7	△ 1.9
自動車部品	51,646	58,970	4.3	14.2	自動車部品	32,194	34,385	2.9	6.8
電気機器およびその部分品	105,237	120,818	8.8	14.8	電気機器およびその部分品	87,579	106,707	8.9	21.8
電気回路閉開機器	30,862	34,503	2.5	11.8	一般工業用機械類およびその部分品	43,816	50,494	4.2	15.2
一般工業用機械類およびその部分品	92,043	101,350	7.4	10.1	事務用機器および自動データ処理機械	36,177	40,124	3.3	10.9
産業用機械	51,153	58,469	4.3	14.3	通信機器、音声記録および音声再生装置	38,400	39,419	3.3	2.7
原動機	41,535	42,621	3.1	2.6	通信機器	31,973	32,345	2.7	1.2
その他輸送機器	35,098	33,584	2.4	△ 4.3	化学製品	149,486	172,472	14.3	15.4
化学製品	213,476	253,854	18.5	18.9	医薬品	58,817	67,834	5.6	15.3
医薬品	87,203	100,902	7.3	15.7	原料別製品	124,543	152,164	12.6	22.2
その他化学物質および製品	28,694	33,601	2.4	17.1	非鉄金属	24,377	34,915	2.9	43.2
原料別製品	144,591	172,313	12.5	19.2	その他金属製品	26,903	32,406	2.7	20.5
その他金属製品	37,929	43,793	3.2	15.5	雑製品	135,298	149,228	12.4	10.3
雑製品	139,387	155,044	11.3	11.2	その他雑製品	37,795	42,379	3.5	12.1
計測機器および制御機器	47,795	50,869	3.7	6.4	鉱物性燃料、潤滑剤	63,942	104,970	8.7	64.2
その他雑製品	40,052	46,104	3.4	15.1	石油、石油製品	38,403	54,491	4.5	41.9
食料品および生きた動物	59,692	61,954	4.5	3.8	天然ガスおよび製造ガス	20,677	40,455	3.4	95.7
鉱物性燃料、潤滑剤	23,366	37,834	2.8	61.9	特殊取扱品	54,966	72,903	6.1	32.6
特殊取扱品	30,675	32,843	2.4	7.1	食料品および生きた動物	68,531	70,009	5.8	2.2
非食用原材料 (鉱物性燃料除く)	20,324	27,855	2.0	37.1	非食用原材料 (鉱物性燃料除く)	35,728	49,160	4.1	37.6
飲料およびたばこ	7,287	8,083	0.6	10.9	飲料およびたばこ	8,529	9,622	0.8	12.8
動植物性油脂、脂肪、ろう	2,483	3,284	0.2	32.3	動植物性油脂、脂肪、ろう	3,158	3,941	0.3	24.8
合計 (その他含む)	1,206,928	1,375,658	100.0	14.0	合計 (その他含む)	1,026,502	1,203,174	100.0	17.2

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
[出所] ドイツ連邦統計局

表3 ドイツの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2020年 金額	2021年 金額	構成比	伸び率	2020年 金額	2021年 金額	構成比	伸び率	
EU	635,741	747,245	54.3	17.5	EU	546,655	638,713	53.1	16.8
ユーロ圏	441,853	518,865	37.7	17.4	ユーロ圏	371,211	438,666	36.5	18.2
フランス	90,910	102,180	7.4	12.4	オランダ	87,024	105,488	8.8	21.2
オランダ	84,579	100,410	7.3	18.7	イタリア	53,906	65,369	5.4	21.3
イタリア	60,634	75,331	5.5	24.2	フランス	56,364	62,063	5.2	10.1
オーストリア	60,118	71,934	5.2	19.7	ベルギー	36,787	51,915	4.3	41.1
ベルギー	43,307	50,441	3.7	16.5	オーストリア	40,454	47,562	4.0	17.6
非ユーロ圏	193,888	228,380	16.6	17.8	非ユーロ圏	175,444	200,047	16.6	14.0
ポーランド	65,008	78,298	5.7	20.4	ポーランド	58,481	68,809	5.7	17.7
チェコ	39,565	47,067	3.4	19.0	チェコ	43,771	50,008	4.2	14.2
英国	67,086	65,351	4.8	△ 2.6	英国	35,018	32,167	2.7	△ 8.1
アジア大洋州	187,461	205,136	14.9	9.4	アジア大洋州	212,728	249,126	20.7	17.1
中国	95,840	103,690	7.5	8.2	中国	117,373	142,236	11.8	21.2
ASEAN	22,376	25,700	1.9	14.9	ASEAN	38,874	42,485	3.5	9.3
シンガポール	6,140	7,205	0.5	17.3	ベトナム	10,347	10,699	0.9	3.4
マレーシア	4,651	5,164	0.4	11.0	マレーシア	8,361	9,961	0.8	19.1
タイ	4,191	4,917	0.4	17.3	タイ	5,629	6,935	0.6	23.2
ベトナム	2,968	3,742	0.3	26.1	シンガポール	4,869	4,213	0.4	△ 13.5
韓国	17,774	18,724	1.4	5.3	韓国	21,427	23,492	2.0	9.6
日本	17,396	18,238	1.3	4.8	日本	11,308	12,620	1.0	11.6
インド	10,658	12,455	0.9	16.9	インド	8,908	10,862	0.9	21.9
米国	103,476	122,038	8.9	17.9	米国	67,694	72,116	6.0	6.5
スイス	56,265	60,617	4.4	7.7	スイス	45,556	48,884	4.1	7.3
ロシア	23,091	26,644	1.9	15.4	ロシア	21,470	33,083	2.7	54.1
トルコ	21,614	21,320	1.5	△ 1.4	ノルウェー	8,103	19,651	1.6	142.5
メキシコ	11,276	13,190	1.0	17.0	トルコ	15,395	18,454	1.5	19.9
ブラジル	8,451	10,486	0.8	24.1	南アフリカ共和国	8,527	12,310	1.0	44.4
カナダ	9,333	10,021	0.7	7.4	メキシコ	7,863	7,729	0.6	△ 1.7
ノルウェー	8,401	9,543	0.7	13.6	ブラジル	6,118	7,552	0.6	23.4
南アフリカ共和国	6,541	7,984	0.6	22.1	バングラデシュ	5,741	7,118	0.6	24.0
アラブ首長国連邦	6,862	7,132	0.5	3.9	カナダ	5,530	6,172	0.5	11.6
合計 (その他含む)	1,206,928	1,375,658	100.0	14.0	合計 (その他含む)	1,026,502	1,203,174	100.0	17.2

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告書などに基づく。
②アジア大洋州は、ASEAN + 6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港、台湾を加えた合計値。
[出所] ドイツ連邦統計局

■輸入は石油と天然ガスの伸びが顕著

2021年の輸入を主要品目別にみると、最大の輸入品目の機械および輸送用機器 (構成比34.8%) は

前年比9.5%増と伸長した。内訳をみると、道路走行車両(9.2%)は、自動車部品(2.9%)が6.8%増、その他電気機器(2.3%)が26.5%増と伸びた一方で、乗用車(4.7%)は1.9%減と前年に続きマイナスとなり、全体で3.3%増にとどまった。また、電気機器およびその部分品(8.9%)が21.8%増、一般工業用機械類およびその部分品(4.2%)が15.2%増と拡大し、機械および輸送用機器全体を押し上げた。化学製品(14.3%)は、医薬品(5.6%)が15.3%増と伸長し、15.4%増となった。原料別製品(12.6%)は22.2%増、そのうち非鉄金属(2.9%)が43.2%増、鉄鋼(2.6%)が52.8%増と大幅に拡大した。鉱物性燃料、潤滑剤(8.7%)は64.2%増で、輸入の伸びに寄与した。中でも石油、石油製品(4.5%)の41.9%増、天然ガスおよび製造ガス(3.4%)の95.7%増の伸びが顕著で、鉱物性燃料、潤滑剤全体を押し上げた。

輸入を国・地域別にみると、最大の輸入元であるEU(構成比53.1%)は前年比16.8%増だった。ユーロ圏(36.5%)は18.2%増だった。ユーロ圏で最大の輸入元であるオランダ(8.8%)が、石油製品(9.4%)の51.6%増により、21.2%増となったことが寄与した。イタリア(5.4%)は、機用品、再輸入品(8.3%)の43.9%増などにより、21.3%増の大幅増となった。ベルギー(4.3%)も41.1%増となった。EUの非ユーロ圏(16.6%)では、ポーランド(5.7%)が17.7%増、チェコ(4.2%)が14.2%増と前年を上回り、中・東欧からの輸入も拡大した。

EU域外では、アジア大洋州(構成比20.7%)からの輸入は前年比17.1%増と増加した。最大の輸入元の中国(11.8%)は、自動データ処理機械(12.4%)が31.0%増、その他電気機器(5.2%)が37.5%増と伸びたため、21.2%増となり、前年の6.3%増から伸び幅が大きく拡大した。米国(6.0%)は、貴金属・くず(3.8%)が95.1%増、機用品、再輸入品(3.1%)が49.7%増、石油製品(1.5%)が2.6倍と大幅に増加したため、前年の5.1%減から6.5%増へ拡大した。英国(2.7%)は8.1%減と減少した。乗用車(10.1%)が25.0%増、非貨幣用金(4.9%)が4.5倍と増加したが、航空機・関連機器(7.5%)の34.5%減、機用品、再輸入品(2.3%)の60.3%減が響いた。ロシア(2.7%)は原油・粗油(41.5%)が38.0%増、石炭(9.4%)が2.5倍となり、全体で54.1%増となった。

■対内直接投資額は減少

ドイツ連邦銀行によると、2021年の対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は618億3,300万ユーロとなり、前年比49.7%減と落ち込んだ。ドイツ貿易・投資振興機関(GTAI)によると、2021年の国外からの投資案件数は前年比21件減の2,035件となった。このうち拡張と移転を含むグリーンフィールド投資案件数は122件増の1,806件となり、コロナ禍前の2019年の1,851件に迫る回復をみせた。国・地域別にみると、米国からの投資が254件と前年に引き続き最多となった。次いで、スイスからが219件となった。このほか、英国からは37件増の140件、オランダが36件増の137件と増加した。一方、中国からの投資は21件減の149件と減少した。また、M&A案件数は143件減の229件となった。

国・地域別に投資額をみると、前年に続いて最大の投資元であるEU域内からの直接投資は548億7,100万ユーロと前年比29.2%減となった。EU域内最大の投資元はフランスで80億7,900万ユーロと2.4倍に拡大し、次いでアイルランドは72億7,000万ユーロと5.7倍に拡大した。一方、前年に最大の投資元だったルクセンブルクは47億6,400万ユーロと82.8%減少し、オランダは25億1,600万ユーロの引き

揚げ超過となった。

EU域外からは、英国が230億8,100万ユーロと78.9%拡大し、中国は21億8,100万ユーロと2.5倍となった。一方、米国は45億9,300万ユーロの引き揚げ超過となり、前年から大幅に減少した。

2021年の主な投資案件としては、スウェーデンの鉱山・岩盤掘削装置等のエンジニアリング会社サンドビックが、地下・トンネル掘削業界向け地盤サポート製品メーカーのDSIアンダーグラウンドを7月に買収し傘下に収めた。また、タイのエネルギー企業PTTの子会社であるオランダのPTTGCインターナショナルが12月に、工業用コーティング樹脂メーカーのオルネクスを41億ドルで買収した。

■対外直接投資額は増加、英国への投資が回復

ドイツ連邦銀行によると、2021年の対外直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比37.0%増の1,636億5,100万ユーロと大幅に増加した。

国・地域別にみると、EU域内向けが11.5%増の1,013億6,700万ユーロと増加した。このうちユーロ圏への投資は28.2%減の571億6,300万ユーロだった。ルクセンブルクは4.0%増の213億8,600万ユーロとなり、EU域内で最大の投資先となった。続くオランダは前年の最大の投資先だったが、61.1%減の168億6,600万ユーロに縮小した。フランスは2.5倍の72億7,700万ユーロへと拡大。ベルギーは16億9,400万ユーロの引き揚げ超過となった。また、非ユーロ圏は前年の67億9,300万ユーロから187億2,900万ユーロへと2.8倍となった。スウェーデンは80億3,900万ユーロと11.6%増だった。

EU域外では、英国が前年の5.6倍となる254億7,500万ユーロへと拡大し、国別で最大の投資先となった。スイスは152億2,000万ユーロで前年から7.9倍に拡大した。前年はEU域外で最大の投資先だった米国は、39.7%減の128億8,300万ユーロに縮小した。シンガポールは85億5,400万ユーロで4.1倍となり、アジア大洋州で最大の投資先となった。中国は57億1,600万ユーロとコロナ禍の影響を強く受けた前年の1億ユーロから大きく回復した。

2021年の主な投資案件としては、デリバリーヒーローが3月に、同業のウーワ・ブラザーズを40億円で買収した。また、商用車メーカーのトレイトンが7月に、同業のナビスター・インターナショナルを37億ドルで買収した。

■対日貿易額は輸出、輸入の双方向で回復

2021年の対日貿易は、輸出が前年比4.8%増の182億3,800万ユーロ、輸入が9.6%増の234億9,200

表4 ドイツの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2020年	2021年	2020年	2021年
	金額	金額	金額	金額
EU	77,521	54,871	90,946	101,367
ユーロ圏	54,876	35,385	79,597	57,163
フランス	3,340	8,079	2,909	7,277
アイルランド	1,281	7,270	△497	80
エストニア	△5	5,593	59	607
ルクセンブルク	27,716	4,764	20,554	21,386
イタリア	△2,412	3,288	1,691	1,130
ベルギー	△4,073	2,009	3,402	△1,694
オーストリア	5,218	1,003	281	4,145
スペイン	2,425	1,500	4,660	4,010
フィンランド	△139	1,264	86	670
オランダ	12,028	△2,516	43,316	16,866
非ユーロ圏	22,645	19,486	6,793	18,729
ポーランド	667	902	1,172	2,668
デンマーク	816	169	141	2,434
ハンガリー	△4	△1,105	△1,679	899
スウェーデン	8,210	△3517	7,202	8,039
英国	12,905	23,081	4,555	25,475
ロシア	195	△547	△304	4,545
スイス	1,702	2,722	1,933	15,220
ノルウェー	337	1,060	121	884
北米	33,213	△7,555	21,015	13,325
米国	32,479	△4,593	21,353	12,883
アジア大洋州	4,379	11,123	5,377	22,010
日本	1,234	6,670	1,891	1,407
中国	881	2,181	100	5,716
シンガポール	1,532	1,382	2,062	8,554
オーストラリア	652	654	1,343	1,969
香港	△485	319	183	693
中南米	8,480	△2,480	△2,428	2,215
英領ケイマン諸島	△842	557	△573	△912
ブラジル	△373	518	△572	1,705
メキシコ	1,363	△1,103	97	2,037
アフリカ	67	204	864	1,565
中近東	△2,674	3,665	△123	702
合計（その他含む）	122,929	61,833	119,458	163,651

〔出所〕ドイツ連邦銀行

表5 ドイツの主な対内直接投資案件 (2021年~2022年4月)

<M&A 以外>						
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要	
半導体	インテル	米国	2022年3月	170億ユーロ	ザクセン・アンハルト州に2つの最先端の半導体工場を建設すると発表。2023年前半に着工、欧州委員会の承認を経て2027年に生産開始、3,000人を雇用の予定。今後10年間、EU域内に総額800億ユーロを投じ、研究開発から、製造、最新のパッケージング技術をカバーする半導体バリューチェーンを構築する計画の一環。	
車載用蓄電池	ノースポルト	スウェーデン	2022年3月	40億ユーロ	シュレスビヒ・ホルシュタイン州にリチウムイオンバッテリーの大規模生産工場「ギガファクトリー」を建設すると発表。2025年に生産開始、3,000人を雇用の予定。バッテリー生産容量は年間約60ギガワット時で電気自動車 (EV) 100万台分に相当する。	
自動車	フォード	米国	2021年2月	10億ドル	ノルトライン・ヴェストファーレン州の同社工場の自動車生産設備を刷新すると2月に発表、8月から工事を開始。2023年に初の欧州市場向けEVの製造を開始する予定。同拠点はEVの開発と生産を担う「フォード・ケルン電動化センター」とする。	
化学	ロック・テック・リチウム	カナダ	2021年7月	4億7,000万ユーロ	ブランデンブルク州に水酸化リチウム工場を建設すると発表。2024年に生産開始、160人を雇用の予定。年間生産能力は約2万4,000トンでEV50万台分の需要に相当する。同州ではEV製造テスラの蓄電池工場やBASFの電池正極材工場などが建設され、蓄電池産業の集積地となることを見込み進出を決定。	
化学	三菱ケミカル	日本	2021年10月	1億1,000万ユーロ	ヘッセン州の同社子会社工場のポリエステルフィルム製造ラインを増設すると発表。年間生産能力は2万7,000トン。2024年末の完成を予定。	
<M&A >						
被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
化学	オルネクス	PTTGC インターナショナル	オランダ	2021年12月	41億ドル	タイのエネルギー企業PTTの子会社であるPTTGC インターナショナルは、工業用コーティング樹脂メーカーのオルネクスを買収。
建設機械	DSI アンダーグラウンド	サンドピック	スウェーデン	2021年7月	9億4,300万ユーロ	鉱山・岩盤掘削装置等のメーカーのサンドピックは、地下・トンネル掘削業界向け地盤サポート製品メーカーのDSI アンダーグラウンドを買収完了。
ヘルスケア	リッター	アバンター	米国	2021年6月	8億9,000万ユーロ	医療機器メーカーのアバンターは、臨床試験用消耗品などを製造するリッターと同社子会社の買収を完了。
電化製品EC	カセキング	HAL インベストメンツ	オランダ	2021年10月	8億2,000万ユーロ	オランダの投資会社HAL インベストメンツは、コンピューターゲーム機やパソコン、関連商品のECを運営するカセキングの株式64%の取得を完了。
ヘルスケア	フェノックス	ワラビー・メディカル	米国	2022年4月	5億ユーロ	医療機器メーカーのワラビー・メディカルは、脳卒中治療用の次世代神経・脳血管治療機器を開発するフェノックスの買収を完了。製品ポートフォリオの拡大により、米国、中国、欧州、日本など各国市場への参入を強化する。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表6 ドイツの主な対外直接投資案件 (2021年~2022年4月)

<M&A 以外>						
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要	
自動車	ベントレー (フォルクスワーゲン・グループ)	英国	2022年1月	25億ポンド	イングランドに同社初のバッテリー式電気自動車 (BEV) の生産・開発拠点を設置すると発表。2025年に生産開始予定。	
半導体	インフィニオン・テクノロジー	マレーシア	2022年2月	20億ユーロ	ケダ州のインフィニオ・テクノロジー拠点をパワー半導体工場を新設すると発表。同社のワイドバンドギャップ半導体 (SiC と GaN) の生産能力を増強する。	
医薬品	ベーリンガー・インゲルハイム	オーストリア	2022年4月	12億ユーロ	ニーダーエスターライヒ州にバイオ医薬品工場を新設すると発表。2026年に完成、800人を雇用予定。がん、脳卒中、心臓発作などに処方されるバイオ医薬品の需要増に対応。	
化学	BASF	フランス	2022年1月	3億ユーロ	シャランベにナイロン製造に用いられるヘキサメチレンジアミン (HMD) の新工場設立を発表。2024年に生産開始予定。年間生産能力は26万トン。	
自動車	メルセデス・ベンツ (発表時社名: グイムラー)	中国	2021年10月	1億4,500万ユーロ	メルセデス・ベンツと北京汽車集団 (BAIC) の合弁会社である北京ベンツ・オートモーティブ (BBAC) の敷地内にR&Dセンターを開設。延床面積5万5,000平方メートルの建物に1,000人のエンジニアが勤務。技術開発のほか、同社製品の現地化を研究する。	
<M&A >						
買収企業		被買収企業 (事業)		時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
デリバリーヒーロー	オンライン食品配達	ウーワ・ブラザーズ	韓国	2021年3月	40億ドル	出前アプリ「配達民族」を運営する大手食品宅配のウーワ・ブラザーズの買収を完了。アジア市場展開の強化を図る。
トレイトン	自動車	ナビスター・インターナショナル	米国	2021年7月	37億ドル	フォルクスワーゲンの商用車部門トレイトンは、商用車メーカーのナビスターの買収を完了。
アリアンツ	保険	アビバ (ポーランド事業)	英国	2021年11月	25億ユーロ	英国保険会社のアビバのポーランド子会社の買収を完了。なお同時にアビバのリトアニア子会社も買収しており、アリアンツは中・東欧市場を強化する。
バイエル	医薬品	ビビディオ・セラビューティクス	米国	2021年8月	20億ドル	米バイオ医薬品のビビディオ・セラビューティクスの買収を完了。これまで開発が難しかったがんや免疫疾患に対する医薬品開発力の強化が目的。
コベストロ	化学	ロイヤルDSM	オランダ	2021年4月	16億1,000万ユーロ	同業のロイヤルDSMの、樹脂・機能材料事業 (RFM) の買収を完了。光ファイバーのコーティングなどコーティング樹脂事業の強化を図る。

[出所] 各社発表および報道などから作成

万ユーロと、輸出入ともに拡大した。ただし新型コロナ感染拡大前の2019年の水準には、輸出入いずれも回復していない。

対日輸出を主要品目別にみると、主力の乗用車（構成比18.4%）が前年比4.8%増、医薬品（7.3%）が16.6%増、航空機・関連機器（3.5%）が2.9倍、銀・白金（1.8%）が2.3倍になり、輸出の伸びに寄与した。

対日輸入では、事務用機器（構成比5.1%）が前年比23.4%増、熱電子管・半導体（5.1%）が13.1%増、その他の産業用機械（3.3%）が31.8%増、電気回路開閉機器（2.9%）が26.1%増、機用品、再輸入品（2.6%）が32.4%増と多くの品目が伸びたものの、主要品目の乗用車（6.9%）は23.6%減と大幅に縮小した。

表7 ドイツの対日主要品目別輸出入（通関ベース）

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
乗用車	3,205	3,358	18.4	4.8	その他電気機器	1,649	1,696	7.2	2.9
医薬品	1,141	1,330	7.3	16.6	乗用車	2,113	1,614	6.9	△ 23.6
その他医薬品	1,385	1,257	6.9	△ 9.2	測定・分析・制御機器	1,350	1,443	6.1	6.9
有機・無機化合物	778	799	4.4	2.6	事務用機器	973	1,200	5.1	23.4
測定・分析・制御機器	771	796	4.4	3.2	熱電子管・半導体	1,059	1,198	5.1	13.1
航空機・関連機器	219	637	3.5	190.5	玩具・スポーツ用品	813	875	3.7	7.6
自動車部品	502	544	3.0	8.3	有機・無機化合物	784	853	3.6	8.8
その他の産業用機械	392	375	2.1	△ 4.3	その他の産業用機械	585	771	3.3	31.8
その他電気機器	337	352	1.9	4.4	電気回路開閉機器	546	689	2.9	26.1
銀・白金	149	335	1.8	125.1	機用品、再輸入品	461	610	2.6	32.4
合計（その他含む）	17,396	18,238	100.0	4.8	合計（その他含む）	21,427	23,492	100.0	9.6

〔出所〕ドイツ連邦統計局

■日本からの対独投資は大幅増加、対日投資は減少

2021年の日本からの直接投資受け入れ額は、前年の12億3,400万ユーロから66億7,000万ユーロに拡大した。2021年の日本企業の子会社として、ナカシマプロペラが3月、船用機器の開発・製造・販売のベッカー・マリン・システムズの株式の過半を取得、船舶の推進性向上と環境負荷低減に貢献するとして。また、荏原製作所はドイツ子会社が4月に、ドライ真空ポンプのオーバーホール工場の稼働を開始したと発表。同工場は、半導体産業が集積するザクセン州に位置し、半導体製造装置などのアフターサービスを強化する。塗料メーカーのDICは6月に、化学大手BASFの顔料事業の買収を完了した。さらに、横川電機は11月に、インシリコ・バイオテクノロジーの買収を完了した。インシリコのバイオプロセス分野向けデジタルツイン技術を取り入れデジタル空間上でのシミュレーションを活用することで、バイオ医薬品の開発の迅速化、また生産面でも品質の安定化や効率的な大量生産を実現させるとしている。

日本への直接投資額は14億700万ユーロと、前年の18億9,100万ユーロから25.6%減となり縮小した。2021年の主な投資案件としては、クリエイター向けの3Dコンピュータアニメーションソフトなどを開発するマクソン・コンピュータが1月、日本の販売代理店だったティー・エム・エスの日本代理店事業を取得し、日本法人を設立した。また、高精度の位置決めソリューションを提供するフィジク・インストルメンテ（PI）が2月、グラナイトの石定盤の加工技術と同技術を用いたポジショニングシステムの開発を行うピー・デー・ダブリューの買収を完了した。PIは、半導体、ライフサイエンスや産業自動化などの分野で必要とされる高精度の位置決め技術の分野の強化を図るとしている。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：8,324万人（2021年）			
②面積：35万7,592km ² （2021年）			
③1人当たりGDP：5万795米ドル（2021年）			
④実質GDP成長率（%）	1.1	△ 3.7	2.6
⑤消費者物価上昇率（%）	1.4	0.5	3.1
⑥失業率（%）	5.0	5.9	5.7
⑦貿易収支（100万ユーロ）	215,456	189,963	192,150
⑧経常収支（100万ユーロ）	262,903	238,741	264,981
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	59,185	63,969	99,169
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	5,026,782	5,559,820	6,134,328
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.8933	0.8755	0.8455

〔注〕⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①②④⑤⑥：ドイツ連邦統計局、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑩：ドイツ連邦銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp